

【萩市】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

子どもたちが災害についての知識及び対応方法を学ぶことで、いざという時に自分自身を守る力を養うとともに、今後の地域防災において地域社会に貢献しようとする子どもたちの意識の向上と実践力の育成を図ります。



実施内容

- 1 実施日時：平成29年8月4日（金）・5日（土）
- 2 実施場所：三見小中学校体育館
- 3 参加者：三見小学校児童25人、三見中学校生徒25人
関係学校教職員14人、関係学校保護者12人、地域住民30人
市総務課防災危機管理室3人、三見消防団20人、三見公民館3人
市教育委員会5人、県教育委員会1人

4 プログラム

【1日目】8月4日（金）

14:00	14:30	15:40	17:30	18:30	19:15	20:10	21:30	
訓練 津波発生	開 会 行 事	【避難所講習①】 [講話・実習] 防災マネージャー 萩市教育委員会 ・避難所開設時の ルール作り	【避難所講習②】 [実習] 防災マネージャー 防災危機管理課 ・避難所レイアウト 実習 ・段ボールベッド づくり	【避難所講習③】 [実習] 公民館・消防団 三見小中学校 ・備蓄食体験（夕 食） ・消防団放水見学	【学習①】 [熟議] 公民館 萩市教委 ・一日の活 動を振り返って	【学習②】 [講話] 県学校防災アドバイ ザー ・津波災害について ・避難所で生活する 上での苦勞など	就 寝 準 備	就 寝

【2日目】8月5日（土）

6:00	6:30	7:40	8:40	9:50	10:20	10:30
起 床	ラ朝 ジ オ 体 操 食	清 掃 ・ 片 づけ	【学習③】 [講習] 萩市社会福祉協議会 三見小中学校 ・災害時、子ども達にできること その役割	ア 振 ン ケ ー ト 返 記 入	閉 会 行 事	解 散

5 活動の様子

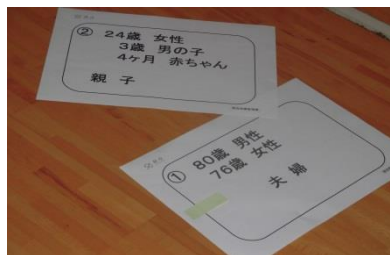
1日目

《避難所開設講習》

避難所に避難して来た住民の方の性別や年齢、家族構成などを考慮し、避難所となる体育館のレイアウトを考えました。



〔開会式〕



〔仮定した家族構成〕



〔避難所のレイアウトの発表〕

《避難所生活に係る講習 講師：萩市防災危機管理課 防災マネージャー》

市防災マネージャーから被災した際の「自助・共助・公助」の重要性について学びました。



〔福井マネージャーによる講話〕



〔KJ法でルールづくり〕



〔みんなで考えました〕



〔地域住民もルールづくり〕



〔和やかなムードで話し合い〕



〔各班から発表〕

《段ボールベッドづくり》

段ボールを使い、地域の方にも手伝ってもらって、ベッドを作りました。



〔どうやって作るの？〕



〔地域の方と一緒に作業〕



〔ベッドの完成〕

《備蓄食体験》

夕食は、アルファ化米を食べました。水を入れるだけなのに美味しくてびっくりしました。

《講話 講師：県学校防災アドバイザー》

県学校防災アドバイザーの幸坂氏から、「前半・津波災害について/後半・避難所で生活する上での苦労や必要なこと」と題して、三見地区に起こる津波で予想される被害状況の説明を受け、避難についてのポイントを学習しました。また、後半では避難所で過ごす際の注意点について御講話をいただきました。実際の東日本大震災の復興支援の様子や避難所での実体験の話を児童生徒や地域住民もとても興味深く聴くことができ、避難所生活の心構えができました。



〔備蓄食体験〕



〔地域の方との熟議〕



〔津波の恐ろしさを学びました〕

2日目

《朝食》

ラジオ体操の後、洗面及び朝食の準備等を、給水車の水を活用して行いました。



〔ラジオ体操〕



〔水を入れて50分で完成〕



〔給水車の水を活用〕

《講話 講師：社会福祉協議会》

4年前の山口県北部集中豪雨災害復旧ボランティアセンターでの子どもたちの活躍の様子を聞き、災害時に自分たちにできる役割を考え、付箋に書いて共有し、決意を新たにしました。



〔自分たちにできることを考えました〕



〔自分の役割を掲示して共有〕



〔地域貢献の決意を発表〕

【児童・生徒の感想から】

- 2日かけて、災害の危険や怖さを学びました。僕はもしも三見に災害が起きたら、学んだことを活かしたり、段ボールベッドを作ったりして、少しでも役立ちたいです。初めて学校に泊まったけれどみんながいたから楽しかったです。あと、ご飯が少ないのも訓練と思いました。(小5男子)
- このような体験はテレビでは見るけど初めてで、実際に段ボールベッドで寝たり、アルファ化米を食べたりするのでいい経験になりました。私は一番大切なのはチームワークだと思います。チームワークが崩れると何もできなくなるので、これからはチームワークを大切に地域の方に感謝していきたいです。(小6女子)
- 今回の防災キャンプでベッドの作り方や、避難する時の場所の分け方が分かりました。避難生活をする所は、お年寄りや小さい子どものいる夫婦をトイレの近くにして、必ず通路を作らないといけないことが分かった。これから、この2日間を活かして、避難所での生活を少しでも快適に過ごせるようにしたいと思います。(中1女子)
- 今まで防災キャンプなどしたことが無かったけど、この2日間で色々な事を学んだ。まず、段ボールで自分のベッドを作るということを初めてやってみたけど、とてもいい経験になった。防災食を実際に食べてみて、意外と美味しく、水を入れるだけでご飯が食べられることにビックリした。この2日間の経験を活かしてもし災害があったら頑張りたい。(中3男子)
- 今まで自分は夏の暑さや冬の寒さなどをエアコンでしのいでいたが、今でも避難している人はエアコンもなくて、しかも大人数で分け合いながら生活している大変さを改めて感じた。自分も贅沢はしすぎず、我慢をしないといけないと思いました。(中2男子)
- 初めての防災キャンプで、災害時の避難所体験ができてよかったし、すごく大変だということがわかりました。また、実際に起きた時は今回より危険で混乱すると思うので、今日の体験は勉強になりました。「自助・共助・公助」を大切に、自分にできることをしたいと思います。(中3女子)